別記様式（第4条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	第49回宍粟市国民健康保険運営協議会	
開 催 日 時	令和7年1月30日（木）午後3時00分～午後3時35分	
開 催 場 所	宍粟市役所3階 庁議室	
議長（委員長・会長） 氏 名	黒田茂	
委 員 氏 名	（出席者） 山國和志 中野典子 松元二三代 山田博史 井上雅博 牧野修一 縣俊孝 西明寺正己 亀井欣也 小西美徳 黒田茂	（欠席者） 小原千種
事 務 局 氏 名	市民生活部部长 森本和人 市民生活部次長 朱山和成 市民課課長 梶原昭一 市民課副課長 小椋容子 市民課国保係長 中田昭圭 税務課課長 島澤康博 税務課副課長兼債権管理室長 西岡修 健康福祉部次長兼保健福祉課長 大谷哲也 保健福祉課副課長 堂田正美	
傍 聴 人 数	0人	
会議の公開・非公開の 区分及び非公開の 理由	公開	（非公開の理由）
決 定 事 項	【議題】 協議事項 令和7年度宍粟市国民健康保険事業計画(案)について 令和7年度宍粟市国民健康保険事業特別会計当初予算(案)について 令和7年度宍粟市国民健康保険税に係る税率の改正について(諮問)	
会 議 経 過	別紙のとおり	
会 議 資 料 等	あり	

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
事務局	<p>(1. 開会)</p> <p>開会あいさつ(略)</p> <p>職員異動の紹介 1月着任 市民生活部次長 朱山和成</p>
会長	<p>(2. 会長あいさつ)</p> <p>会長あいさつ(略)</p>
市長	<p>(3. 市長あいさつ)</p> <p>市長あいさつ(略)</p> <p>《市長退席》</p>
事務局	<p>本日の出席状況について、ご報告申し上げます。本日の出席委員数は、11名でございます。委員定数の2分の1以上の方に出席いただいておりますので、宍粟市国民健康保険条例施行規則第6条の規定により、この協議会が成立することを報告いたします。</p>
事務局	<p>(4. 議長選出)</p> <p>議長につきましては、宍粟市国民健康保険条例施行規則第7条の規定によりまして、協議会の議長は、会長があたることになっておりますので、ここからの会議の進行は黒田会長にお願いします。よろしくお願いします。</p>
議長	<p>(5. 会議録署名委員選任)</p> <p>会議録署名委員の選任につきましては、宍粟市国民健康保険条例施行規則第11条の規定により、会長が指名することになっておりますので、私から指名させていただきます。</p> <p>本日の会議録署名委員に、牧野修一委員、西明寺正己委員のお二人を指名いたしますので、よろしく願いいたします。</p>

発言者	議題・発言内容
議長	<p>(6. 協議事項)</p> <p>(1) 令和7年度宍粟市国民健康保険事業計画(案)について</p> <p>(2) 令和7年度宍粟市国民健康保険事業特別会計当初予算(案)について</p> <p>を議題といたします。事務局の説明を求めます。</p>
事務局	<p>資料により説明《(1)市民課・税務課・保健福祉課、(2)市民課》</p>
議長	<p>事務局の説明が終わりましたので質疑に入ります。ご意見ご質問はございませんか。</p>
委員	<p>4ページ事業計画案のなかに労働災害による受診の給付先切り替えまたは給付調整とありますが、労働基準監督署との調整はどのようになっていますか。</p>
事務局	<p>国民健康保険を使って医療を受けられていた場合、宍粟市が労働基準監督署と調整するのではなく、被保険者の方に勤め先に相談していただいて、お勤め先から労働基準監督署に相談していただくこととなります。</p>
委員	<p>今までも労働災害の案件に変わっていった事例があるということですか。</p>
事務局	<p>そのとおりです。</p>
委員	<p>22ページの基金のところ、令和6年度で多くの額を取り崩し、積立額は年々少額となっていますが、令和7年度でまた同じような金額が必要となったら足りないのでは。心配なくてよいのですか。</p>
事務局	<p>そこが一番心配なところでありまして、平成27年度にC型肝炎の新薬が発表されたときは積み立てていた基金をすべて使い果たしており、このようなことがありますので保険税を少し多めに納めていただきたいというのが本音ではありますが、やはり被保険者の負担が増えることとなりますので、なるべく負担が増えない範囲で保険税を調整していかないといけないと考えています。この協議会でも、このことを勘案して税率を判断していただきたいと思います。</p>

発言者	議題・発言内容
議長	(3) 令和7年度宍粟市国民健康保険税に係る税率の改正について(諮問)を議題といたします。事務局の説明を求めます。
事務局	資料により説明《税務課》
議長	事務局の説明が終わりましたので質疑に入ります。ご意見ご質問はございませんか。
委員	諮問案は、所得割は県の示す標準保険税率と同じにし、均等割と平等割は、標準保険料率より超えているものは減らし、少ないものは増やすこととされたということによいのですか。
事務局	そのとおりです。
委員	この諮問案と被保険者数で計算して、予算書の国保税の額になったということによろしいですか
事務局	そのとおりです。 現行税率で計算すると税額が約2,200万円不足するため、また、標準保険料率に近づけていく必要もあることから、税率改正を行うものです。
委員	予算の保険給付費が減っていましたが、一人当たり医療費はどんどん上がっているのに、これで大丈夫なのかと思います。被保険者が減ったら保険給付費も減っていいのかと思います。
事務局	被保険者の減少率が6.1%。それに比例して保険給付費が減少しているわけではなく、給付費の減少率は4.9%です。その差が一人当たり医療費の上がっている部分を吸収しています。
委員	保険給付費は減少しているのですか。
事務局	必ずしも減少するとは言いきれませんが、県も減少する見込みをしておりますので、減少する見込みで予算を作成しております。

発言者	議題・発言内容
委員	<p>コロナ禍は、用心して出歩くことも控えたから、医療に行くのも控えたので、そういうところも医療費に影響したのではないかと思います、関係ないでしょうか。</p>
事務局	<p>そういう面もあるかと思います。コロナ禍が落ち着いて医療費が増えている状況です。</p>
委員	<p>コロナ禍の後、皆さん気を付けられるようになられて、全国統計でも平均余命が伸びました。そういう傾向は日常診療でも感じられます。ですから少し医療費が減っているのかなど。そんな実感はあります。</p>
委員	<p>国保の方だから年配の方が多いですよね。明らかに健康診断の結果で、オンラインで仕事し始めてから5年近くになって、メタボが明らかに増えています。家から駅まで歩き、駅から会社まで歩く運動をしなくなって、家で食べながら仕事をしているから運動不足になっている。その方たちは、今、国保ではないけれども、今後、国保に入ったらお金がかかってくると思います。</p> <p>一番気になっているのが認知症の新しい薬がどの程度使われるか。一人300万円くらいで宍粟市の方は結構使われていることを聞いている。リスクファクターがあるので説明をされているが、宍粟市以外の方は3分の2くらいの方がやめるが宍粟市の方は3分の2くらいの方がリスクがあっても使っている感じだそうです。</p> <p>一人当たり医療費が増えている要因として、そういうことがあるのではないのでしょうか。</p>
議長	<p>2年後3年後、医療費が上がっていく可能性が見込まれると理解してよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>新しい薬が出るとどれも高い。そういうのをどんどん使うと医療費は上がるのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>ジェネリック医薬品の使用率は令和5年9月で81.86%です。それに比べると宍粟市の使用率は高い。そういう意味では宍粟市の医療費は安く上がっていると考えられる。</p>

発言者	議題・発言内容
議長	事業計画案で、どのようにしたら医療にかからなくてよいか、少しでも少なくできるのか、というところの重要性が出てくるわけですね。
議長	<p>ここでお諮りします。今回の諮問については適正と認め、了承することとしてよろしいですか。質問は出ましたが、一応了承ということで進めさせていただきます。</p> <p>(異議なし)</p>
議長	<p>異議なしと認めます。協議会で出た意見を加え、市長あて答申書を提出したいと思います。答申書の内容については、会長・副会長に一任いただきたいと思います。よろしいですか。</p> <p>(委員了承)</p>
議長	<p>それでは、副会長とともに答申書内容について調整させていただき、市長あて答申書を提出させていただきます。委員の皆様には、答申書の写しを後日送らせていただきます。</p>
議長	<p>(7. 報告事項)</p> <p>(1) 「特定健康診査・特定保健指導の実施状況」について</p> <p>(2) 「マイナ保険証利用登録状況及び利用率」について</p> <p>を報告いたします。事務局の説明を求めます。</p>
事務局	資料により説明《(1)保健福祉課、(2)市民課》
議長	<p>事務局の説明が終わりました。</p> <p>ご意見、ご質問はございませんか。</p>
委員	マイナ保険証の利用率について、マイナンバーカードを使ったり、普通の保険証を使った場合はどうなるのでしょうか。
事務局	利用率の計算方法ですが、オンライン資格確認人数を外来レセプト枚数で割ったものですので、例えば宍粟総合病院と別の病院でマイナ保険証が使われた

発言者	議題・発言内容
委員	<p>場合、延べの人数として2人をレセプト2件で割ることになります。</p> <p>マイナ保険証は毎回チェックすることになりますが、1つの医療機関で2回チェックしてもカウントは1回ですね。</p>
事務局	<p>同じ月ですとそのとおりです。</p>
委員	<p>マイナ保険証の場合、保険資格の確認のためだけではないので、マイナ保険証は1回の受診に対して毎回出してもらわないといけないから、それを面倒くさがられている患者さんはおられます。</p>
委員	<p>マイナ保険証を使用しないから、資格確認証を発行してくださいと言えば発行してもらえるのでしょうか。</p>
事務局	<p>資格確認証は、基本的にはマイナ保険証を登録されている方には発行されません。マイナンバーカードを持っていない方やマイナンバーカードを持っていても保険証の利用登録をされていない方に対して発行しています。</p> <p>また、配慮が必要な方で、マイナ保険証で医療機関にかかるのが難しい方、介助者が必要な方については、申し出があれば発行します。</p>
委員	<p>全員に発行ではなく、申し込んだ方だけに発行ですか。</p>
事務局	<p>マイナンバーカードを持っていない方やマイナンバーカードを持っていても保険証の利用登録をされていない方には、当分の間は何もされなくてもこちらから発行します。</p>
委員	<p>後期高齢者支援金が天引きされており、これから後期高齢者もどんどん増えていく中で、収入は保険税率を上げることでしか増えないのであれば、この先、医療体制はどうなっていくのかと、お金の心配をします。</p> <p>例えば高額医療費の上限を上げるとか、考えられるのかと思いました。</p>
事務局	<p>令和7年度から高額療養費の限度額が上がる改正が予定されていますので、被保険者の負担は増えることが予想されます。</p>

発言者	議題・発言内容
委員	<p>入院した際に医療費の請求書を見ると、数百万円という数字は書いてあるが、実際に支払うのは数万円でこんなことでいいのかと思う。実際に医療を使われている人が税金を払うのが当たり前ではなくて、病院に行っていなくても手助けをしないといけないと思う。</p>
事務局	<p>自己負担の限度額が段階的に上がっていくのですが、均一に上げるのではなく、所得に応じて上げていくという形で国が動いていますので、それに沿って県や市も対応していくようになります。</p> <p>国保の会計も、県から求められた納付金を、そのまま市が納める税金の中で対応していくのではなく、国保事業の中で頑張っている市町、そうではない市町というのはある程度、区別されております。</p> <p>例えば、特定健診の受診率が上がっていけば、その分交付金という形で市のほうに入ってきますし、受診率が下がっていけば、その部分はペナルティで交付金が減らされていきます。国保の徴収率についても、一定の水準を求められておまして、そこを超える超えないで交付金が変わってくるということで、</p> <p>先ほど言いました国保税だけじゃなくて、それぞれの市町の国保事業の努力が求められていますので、それを国保の被保険者の方にも認識していただく流れ中で進めていくのが必要かなと考えています。</p>
委員	<p>いろんな取り組みによって、保健、医療全体が助かっていくというようなことを被保険者の皆さんにもっともっとPRをされたらいいかと思う。</p>
事務局	<p>健康福祉部とそのあたりを連携し、健康寿命を延ばし、健康であり続けることが、健全な財政運営につながるということを、周知、啓蒙をしていきたいと考えております。</p>
委員	<p>民生委員の代表ということでお願いがあります。健康診断を受けるために、高齢者のひとり暮らし二人暮らしの方の対応を自治会にお願いしているとのことですが、お願いだけで済んでいるのですか。</p>
事務局	<p>健診に関しましては、地域で取り組んでいくということで、受診票の配布や回収をしていただくので、いろんな配り物の中にいれてもらい目につきやすい情報として地域で一斉に送ります。地域で情報共有していただいて、申込みの声かけをしていただけたらありがたいと思っています。</p>

発言者	議題・発言内容
委員	<p>配車に関しましては、申込み用紙のところに配車の希望のある方は丸をつけていただいて、町毎に配車計画し健診の送り迎えをしています。</p> <p>それと、地域のひとり暮らし2人暮らし高齢者だけの世帯で、車で行きにくい、情報自体が得にくい場合は、実態把握員が、春・秋、年2回訪問し、そのときに、申し込みを促したり、用紙を持ち帰ってきたりしています。</p> <p>実態把握委員が情報を流すこと、身内や近隣の方の声掛け、一番多いのは百歳体操とかの身近な方からの声かけかと思います。</p> <p>民生児童委員に調査を協力して欲しいということでしたら、定例会で前向きに検討させていただきます。</p> <p>受診率が40%弱でありますので、せめて50%になるようなところに持っていったら、最終的には国からの補助も増える、努力したら増えるということで、前向きなアクションをお願いしたいと思います。</p>
委員	<p>一宮のスポニックのあたりに市が関係しているようなスポーツ施設はあるのでしょうか、山崎にはトレーニングジムがありますが筋トレができるようなところはありますか。</p>
事務局	<p>一宮のスポニックには簡単なトレーニングできる器具があります。</p>
委員	<p>体を鍛えておけば、お医者さんに世話にならなくても済むかなと思うので、そういう施設を充実していただければと思います。これから後期高齢者になりますが、できたら、元気で健康でやりたいというのが本音なんで、気軽に運動できるようなところがあればなあと思います。</p>
事務局	<p>123か所で実施している百歳体操を充実させていって、さらに、個人差によって筋力と鍛えたいということなれば、ジムであつたりとか、市のスポーツ施設にも簡単な器具があるんで、それを活用していくというのも一つの方法かなと考えております。</p>
委員	<p>百歳体操のところ、一人暮らし二人暮らしの方のところへ行く方は、どこの方なのでしょう。</p>
事務局	<p>市役所の保健福祉課北部と福祉相談課です。訪問結果は、心配な状況でした</p>

発言者	議題・発言内容
委員	<p>ら、保健師に引き継いでまた訪問に行ったりしています。</p> <p>うちの地域では、百歳体操の参加者は 25 名ほどで止まってしまう。毎年人数が増えるわけなので、もっとほかの知らせ方を考えないと。</p> <p>実際、自治会の方で健診の申込用紙を配っており、初めてその結果を見ましたが、ふたを開けたらこんな情勢。</p> <p>もっと地域に即したような、連絡網、やり方をしないと、ひとり住まいの方に本当に連絡が行ったのか、現場に行きましょうと押し込むぐらいのつもりでないと。</p> <p>受診率アップするのであれば、もっと方法論を考える必要があるのではないかと、私は地区の関係で気が付きましたので申し上げますけど、それでは行き渡らないような気がしますけどね。いろいろ相談させてください。</p>
事務局	<p>確かなかなかつながらないところがありますので、工夫して考えていきたいと思います。</p>
委員	<p>社協の職員も数少ないので、地域の福祉委員さんとか社協の教育委員さんにお問い合わせはしているのですが、なかなか、地域に入り込めていないというのが実態です。</p> <p>地域によっては自治会の会議のときに参加させていただくところもあるし、社協の委員さんが誰か分からない地域もあります。</p> <p>高齢化もありますけれども、高齢化になっている以上、必要な活動をどうやっていくのがいいのか、社協自身も会議で何度も取組方を検討しています。まだ具体的な策はないですけども、地域に入り込むのが難しい時代じゃないかなあという感じは受けています。</p> <p>健診のことですが、私の息子たちは自営業ですので、必ず案内が来たら参加して、おじさん、おばさんを誘って行っているような状況です。特に自営業で機会がないので、ありがたい制度だと思って活用させていただいています。</p>
委員	<p>宍粟市の国保は、全国平均よりもジェネリック医薬品の使用率が 5 % も高く、努力してやったださってると思っております。</p>

発言者	議題・発言内容
議長	<p>(8. その他)</p> <p>各委員から、他にご意見ご質問はありませんか。</p> <p>ないようですので、以上で本日の議題はすべて終わりました。これをもちまして本日の会議を閉会とさせていただきます。みなさま、ありがとうございました。事務局に進行をお返しします。</p>
副会長	<p>(9. 閉会)</p> <p>閉会あいさつ(略)</p>